



小久保 照枝 議員
公明党

問 認知症と生きる希望社会を

答 正しい理解で共生のまちに

問 認知症の相談窓口は。

答 **健康福祉部長** 海南病院内に地域包括支援センターがあり、総合福祉センター内には北相談窓口がある。

問 現在の認知症サポート数と、今後の養成目標は。

答 令和4年度末現在で延べ6951人。毎年300人程の養成講座受講を見込む。

問 認知症予防促進の今後の方針と課題は。

答 元氣塾や脳若トレーニング、ふれあいサロンなど一般介護予防事業を実施。早期発見へのアプローチが進まないことが課題。

問 有償ボランティア活動を推進できないか。

答 情報収集を行い関係事業者とも情報共有を図っていく。

問 介護者支援の現状と今後の方針は。



▲弥富市地域包括支援センター

答 認知症カフェや認知症家族交流会「はっつさんかい」など開催。体制整備を引き続き行う。

問 あんしん見守り賠償責任保険、見守りシールの導入は。

答 見守りシールは、令和6年度からの導入に向けて検討。

問 市長総括を。

答 **市長** 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の中で「認知症施策の推進」を掲げ取り組んでいく。

問 音声コードの普及を!

答 重要であり普及に努める

問 視覚障がい者用の情報・意思疎通支援用具の利用状況は。

答 **健康福祉部長** 「情報・通信支援用具」が2件、「視覚障がい者用拡大読書器」が2件。

問 公的な通知を発送する場合の封筒に音声コードを掲載しては。

答 弥富市障がい者計画において、音声コードを導入する旨掲載し普及に努める。

問 水道使用量のお知らせの検針票に音声コードを掲載しては。

答 **環境課長** 要望は海部南部水道企業団へ伝える。



▲ユニボイス音声コード

問 防災ガイド、ハザードマップ作成時に音声コードを掲載しては。

答 **防災課長** 「避難行動要支援者名簿」を活用してハザードエリアに該当する視覚障がい者世帯を調査したうえで、個別に説明するなど、対応を福祉部門と連携して行う。

問 市長総括を。

答 **市長** 障がい者等が迅速かつ的確に情報取得、利用ができるよう施策の推進に取り組む。